
あいたくて～あいしてる～

蒼龍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あいたくて〜あいしてる〜

【Nコード】

N5337S

【作者名】

蒼龍

【あらすじ】

チャットで知り合ったのが始まりの二人の物語。

出逢い（前書き）

またしても調教物…にしようと思っているお話です。

出逢い

俺、澤藤龍平《さわふじりゆうへい》。
こないだ素敵な女性と知り合った。
彼女の名前は藤井結衣《ふじいゆい》。

お互いに藤の字が名字に入ってるね。藤原家の子孫同士かな、なんて話しをしたのが始まり。

ただ、知り合った場所がちょっとアダルトなチャットだったから、すぐに話はそっち方向へ。

まあ、俺が下心アリで入ったからなんだけど。

その後何度かチャットで話して、お互いに忙しい時間をやりくりしてデートまでこぎつけることに成功した。

初めてのデートはどこにしよう。しばらくはそればかり考えていた。

デートの日。

結衣は息を切らせて走ってきた。

「ごめんなさいー!」

目の前でぺこりと頭を下げる彼女がとても可愛らしく思えた。
時間も時間だ。

あんまりゆっくり出来ないのが残念だ、と思いながら、俺は彼女を近くの居酒屋に連れて行った。

個室があつて間接照明で、なかなか雰囲気の良い店だ。

一番奥の個室が空いていたのはラッキーだった。奥の個室に入つて、俺が上着を脱いでカッターシャツだけになると、結衣も上着を脱いでブラウスになった。

まずはビール、ジョッキで乾杯。

半分を勢いで飲み干し、結衣を見ると頬が少し赤くなっている。人のことは言えない。

空きつ腹にいきなり飲んだから、俺の顔も赤くなっているハズ。

注文した肴が何品か運ばれてきた。

その後、結衣が立ち上がつて俺の隣に座る。

「どうしたん？」

「ん。背中向けて座ってたなら、店員さんきても分からへんやん？」
そう言いながらぴったり寄り添うように座る。

俺はニツと笑つと首を伸ばして結衣の耳元で囁いた。

「トイレ行つて下着とっといで」

チャットでは何度も交わしていた言葉。

本当に言われると思つていなかったのか、それとも期待通りのセリフを耳にした喜びなのか、どっちかは分からなかったが、結衣はさらに頬を赤くしてしばらく俯いていた。

その次の瞬間、店員がふすまをあけ、ほっけを運んで来た。

はじかれるように立ち上がると、結衣は傍のバッグを手に

「ちょっと」

とだけ呟いて個室を出て行った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5337s/>

あいたくて～あいしてる～

2011年4月28日23時07分発行